

てんた活動情報

定例的な活動は以下のとおり。
参加する場合は御連絡ください。

■定例会・理事会：毎月第2、第4金曜日
19:30～21:30
富士見地区行政センターにて

■東谷津作業：毎月第2、第4日曜日
10:00～15:00頃まで
東谷津ホトケドジョウの里にて
雨天中止

■天覧山谷津作業：毎月後半の土曜又は日曜
9:30～11:30
7・8月は7:30～9:30予備日あり
天覧山中央公園トイレ前集合の上、
天覧山谷津にて 雨天中止

■モニ1000植物調査：毎月11日※4月は1日に実施
8:30～昼頃まで
能仁寺山門前集合 雨天中止

■モニ1000チョウ調査：4月～11月第1土曜日
10:00～11:00頃まで
能仁寺山門前集合 晴天以外中止



○東谷津

トラスト運動で取得した谷津田(1,400㎡)の再生保全のため、石窯を活用したエコツアーを開催しながら、ビオトープ池や草原等を整備しています。昨年は小屋の屋根を修繕し、活動日にたき火ができる「たき火Cafe」開催してます。

○天覧山谷津

はんのう市民環境会議の田んぼ再生などの谷津田整備作業に毎月参画しています。昨年はコロナ対策で田んぼを休止しました。

○その他

発酵食品テーマパーク・OH!!!の建設に当たり、ムササビのための樹木保全等を要望しました。



エコツアー「天覧山麓でかい掘りするぞー！」報告



講師の嶋田順一さんは「無酸素状態だった池の底に、かい掘りで酸素が供給され、生き物の生息環境が改善された意義は大きい。」と言います。里地里山にある池の保全作業とエコツアーは相性が良く、エコツアーへの参加が自然環境保全につながることを次回もつとアピールしようと思いをしました。



今回皆さんが一番多く見つけてくれた生き物がホトケドジョウでした。会場の愛称「ほとけどじょうの里」が健在だったことに安堵した次第です。他にもカワリヌマエビ、シマアメンボ、カワニナを多数捕獲しました。大小5匹のアメリカザリガニの中には脱皮したと思われる個体がいきました。そしてミスカマキリ、各種トンボの幼虫、ハリガネムシなど全部で14種類の生き物が確認でき、短時間での成果としては上々だったと思います。続く泥出しもスムーズに運び、その後池に再び水を入れてビオトープが再生されました。



2020年10月25日「かい掘りエコツアー」にて

生き物捜しに夢中の参加者



会員 久下智子

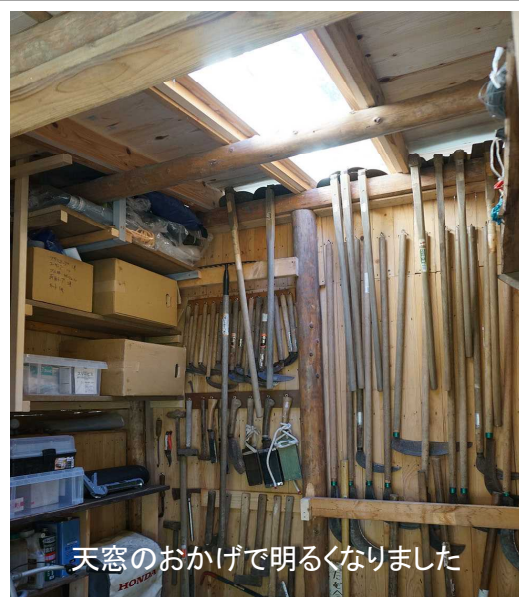
谷津田ログハウスを

リフォームしました！

東谷津「ほとけどじょうの里」保全のための作業道具を保管しておく小屋は、十五年が経過して雨漏りがするなど修繕の必要がありました。幸運にも2020年度、(公財)サイサン環境保全基金の助成金を頂けることになり、修理に必要な木材や屋根材などの材料を購入することが出来ました。ただし、



修理作業は会員自らで行わなければなりません。景観に配慮して、小屋の屋根には土を載せ、草を生えさせています。外壁は間伐材を井桁に組み、隙間には土を塗り周辺の森に溶け込むようにしています。今回の修繕では特に防水性を強化して「屋根緑化」を再現したほか、室内が暗かったためトップライト(天窗)を新設。ついでに内部の棚も作り直したので、道具類が整理整頓され明るく気持ち良い室内へと変身。また、入り口前は雨宿りが出来るくらい軒の出を長くすると共に、ウッドデッキも新しく取り替えたので見違えるほど立派になりました。昨年十月三十一日に材料の搬入、そして屋根の解体からスタート。十一月三日までの連休中に終わらせようと作業に取り掛かりましたが、こだわりの屋根工事に手間取ったかプロなみの腕前？を持つ会員らの奮闘むなくタイムアウト。その後、合間に残工事を進め、年末十二月に最後の屋根に土を載せる作業を終え、無事完成を祝うことが出来ました。



これで雨漏りもなくなり、作業道具の保管は一安心、後はたくさんの方が「ほとけどじょうの里」の保全整備に参加してくれるのを待ちます。
(浅野正敏)



